

2. 回収状況

モデル事業における回収状況を以下に示す。

ボックス回収については、1月18日より回収を開始しており、ボックスからの収集は2月2、3日、2月15日、3月2日の3回実施されている。

ピックアップ回収については同様に、2月末までのデータ収集が行われている。

イベント回収については3月22日に予定されている。収集データが得られているボックス回収及びピックアップ回収の状況を次ページ以降に示す。

	H2012 月.下	H21.1 月上	中	下	2月 上	中	下	3月 上	中	下
ボックス回収										
設置			1/16							
収集			1/18		→					
ピックアップ回収					→					
イベント										3/22
周知			1/15 広報、 ポスター							
	チラシ				→					



ホームセンター1店舗からの回収物（回収期間：2週間）

ボックス回収計(30施設)では 約165kg回収



分別後の使用済み小型家電 リモコン類



不燃物からのピックアップ物
13種類に分別 回収量 約282キロ
(回収期間 約1ヶ月半)

1) ボックス回収

(1) 回収箇所別 個数・重量

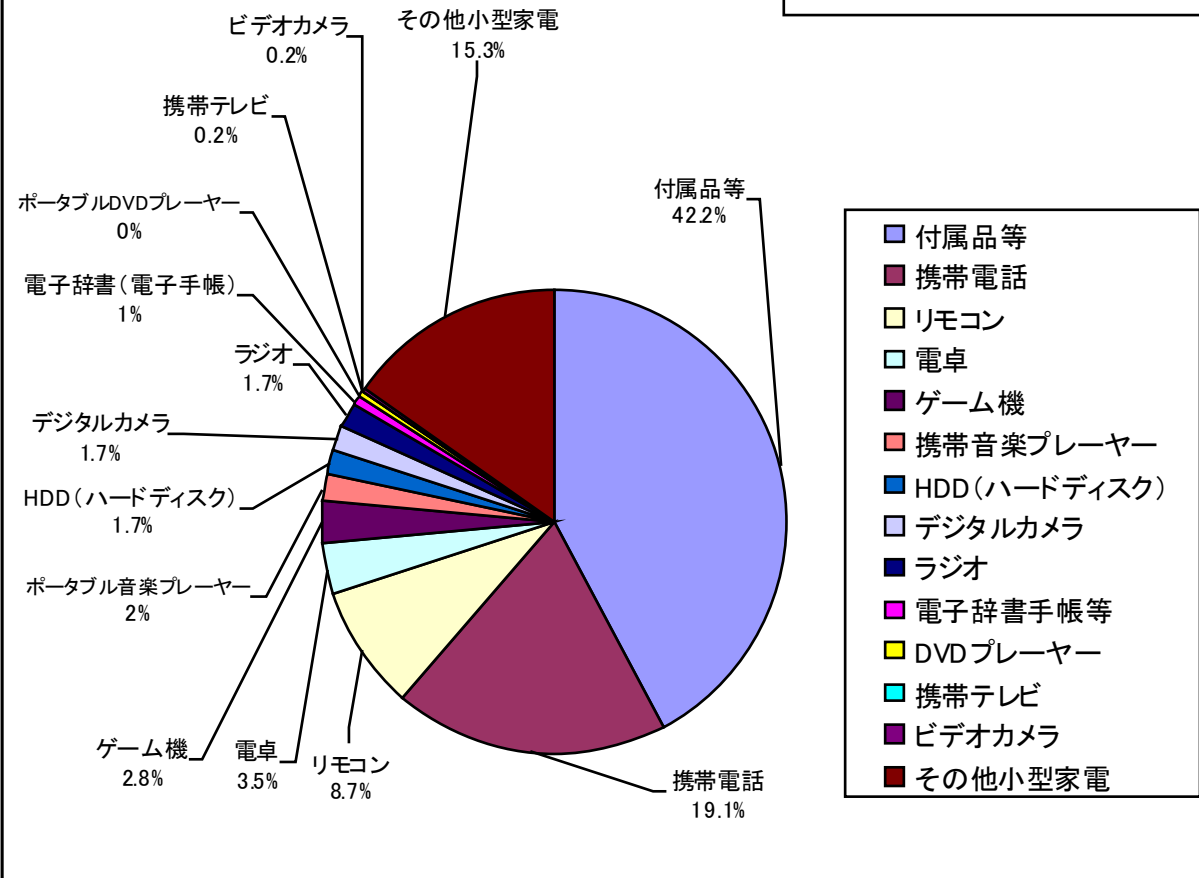
回収期間	回収日	計		店舗		公共施設		学校	
		個数(個)	重量(kg)	個数(個)	重量(kg)	個数(個)	重量(kg)	個数(個)	重量(kg)
第1回(1/18~2/1)	2009/2/2~3	1,138	174.4	923	141.5	210	31.8	5	1.1
第2回(2/2~2/14)	2009/2/15	902	159.4	683	128.3	169	24.5	50	6.6
第3回(2/15~2/28)	2009/3/2	727	133.1	593	107.6	112	21.0	22	4.5
合計		2,767	466.9	2,199	377.4	491	77.3	77	12.2

施設名	計		店舗		公共施設		学校	
	個数(個)	重量(kg)	個数(個)	重量(kg)	個数(個)	重量(kg)	個数(個)	重量(kg)
箇所あたり回収量	92.2	15.6	129.4	22.2	44.6	7.0	38.5	6.1
※回収期間42日間(日あたり)	2.2	0.4	3.1	0.5	1.1	0.2	0.9	0.1
(月あたり)	65.9	11.1	92.4	15.9	31.9	5.0	27.5	4.3
(月・1,000人あたり)	15.1	2.6						
設置箇所数	30 箇所		17 箇所		11 箇所		2 箇所	
対象人口(大牟田市)	130,472 人							

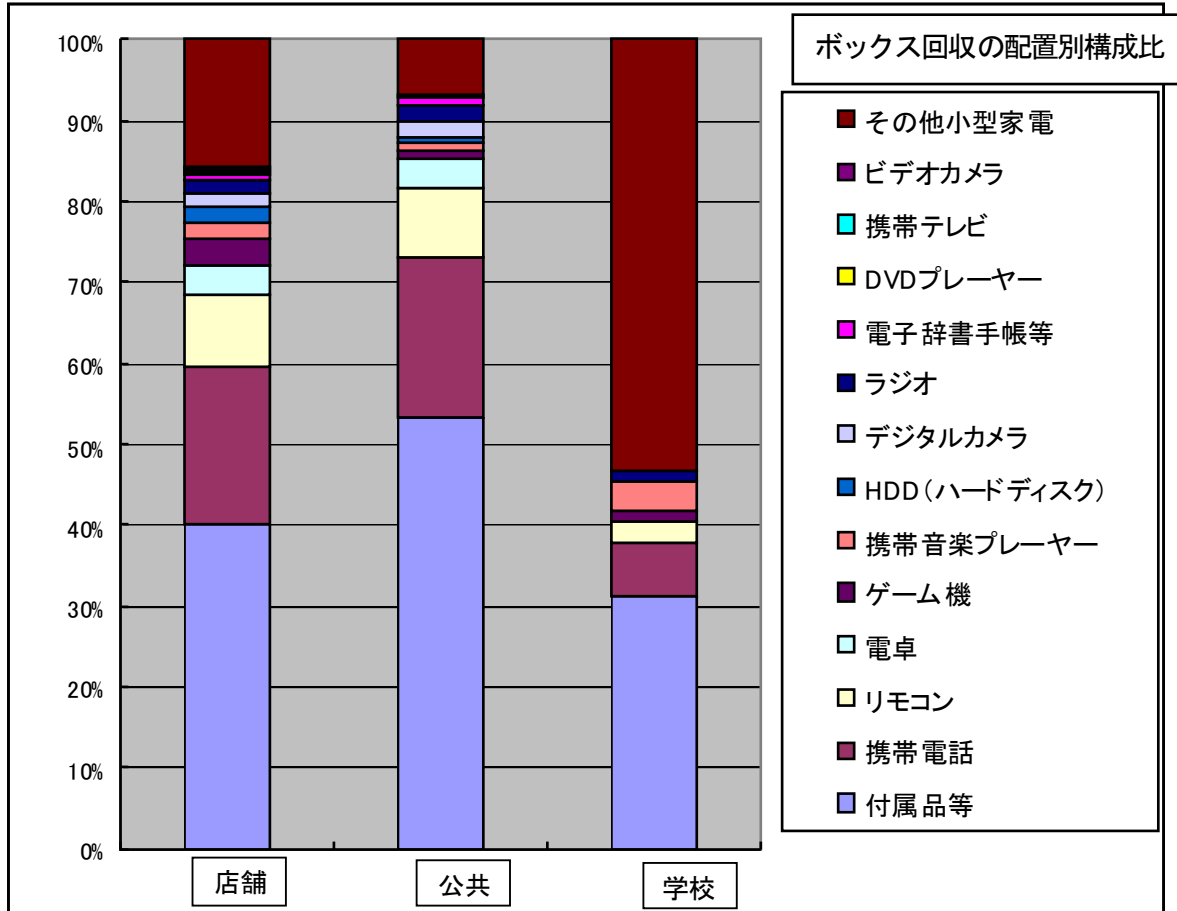
(2-1) 回収箇所別、品目別 個数

対象品目	小計						合計	
	店舗		公共施設		学校			
	個数(個)	構成比(%)	個数(個)	構成比(%)	個数(個)	構成比(%)	個数(個)	構成比(%)
付属品等	883	40.2	261	53.2	24	31.2	1,168	42.2
携帯電話	426	19.4	98	20.0	5	6.5	529	19.1
リモコン	197	9.0	43	8.8	2	2.6	242	8.7
電卓	80	3.6	17	3.5	0	0.0	97	3.5
ゲーム機	72	3.3	5	1.0	1	1.3	78	2.8
携帯音楽プレイヤー	44	2.0	4	0.8	3	3.9	51	1.8
HDD(ハードディスク)	42	1.9	5	1.0	0	0.0	47	1.7
デジタルカメラ	37	1.7	9	1.8	0	0.0	46	1.7
ラジオ	36	1.6	9	1.8	1	1.3	46	1.7
電子辞書手帳等	19	0.9	5	1.0	0	0.0	24	0.9
DVDプレイヤー	5	0.2	0	0.0	0	0.0	5	0.2
携帯テレビ	5	0.2	0	0.0	0	0.0	5	0.2
ビデオカメラ	4	0.2	1	0.2	0	0.0	5	0.2
その他小型家電	349	15.9	34	6.9	41	53.2	424	15.3
合計	2,199	100	491	100	77	100	2,767	100

ボックス回収の数量構成比率

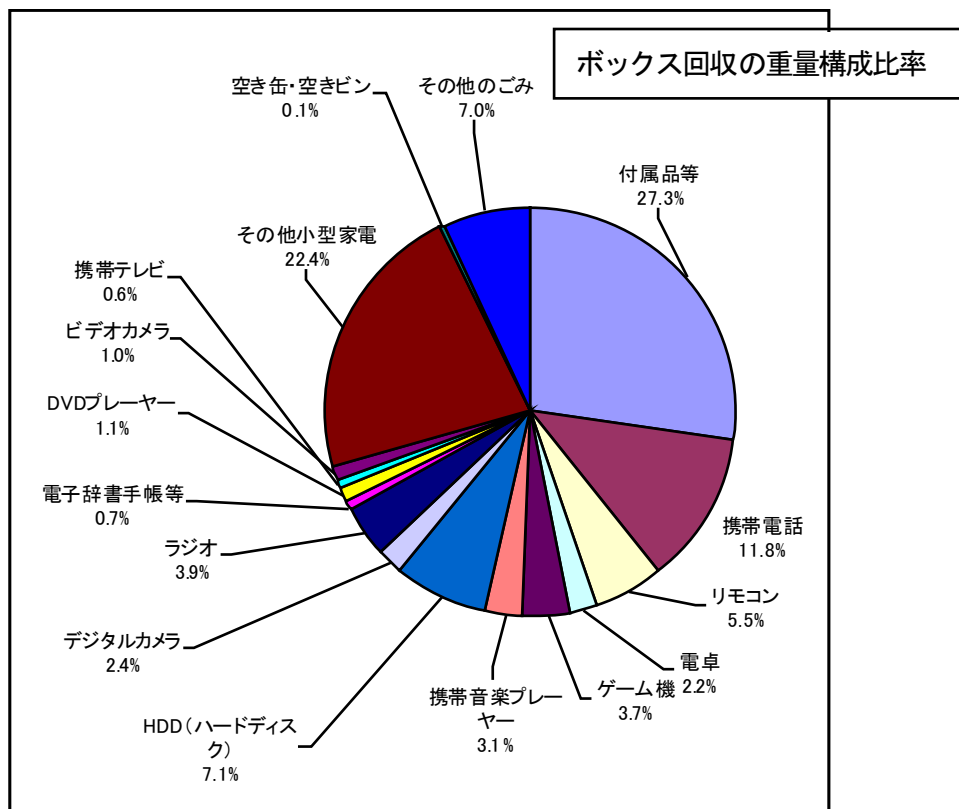


ボックス回収の配置別構成比



(2-2) 回収箇所別、品目別 重量

対象品目	小計						合計	
	店舗		公共施設		学校		重量 (kg)	構成比 (%)
	重量 (kg)	構成比 (%)	重量 (kg)	構成比 (%)	重量 (kg)	構成比 (%)		
付属品等	100.3	26.6	24.5	31.7	2.9	23.5	127.6	27.3
携帯電話	44.6	11.8	10.1	13.0	0.5	4.1	55.1	11.8
リモコン	21.5	5.7	4.1	5.3	0.3	2.1	25.9	5.5
電卓	8.3	2.2	1.9	2.4	0.0	0.0	10.2	2.2
ゲーム機	13.5	3.6	3.7	4.8	0.2	1.6	17.4	3.7
携帯音楽プレーヤー	12.6	3.3	0.7	0.9	1.2	9.9	14.5	3.1
HDD(ハードディスク)	29.2	7.7	3.8	4.9	0.0	0.0	33.0	7.1
デジタルカメラ	9.2	2.4	2.2	2.8	0.0	0.0	11.4	2.4
ラジオ	10.0	2.6	7.0	9.1	1.0	8.2	18.0	3.9
電子辞書手帳等	2.6	0.7	0.7	0.9	0.0	0.0	3.3	0.7
DVDプレーヤー	5.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	1.1
携帯テレビ	2.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.6
ビデオカメラ	3.8	1.0	1.0	1.3	0.0	0.0	4.8	1.0
その他小型家電	84.3	22.3	14.8	19.1	5.7	46.9	104.8	22.4
小型家電計(100%)	347.5	92.1	74.4	96.2	11.7	96.3	433.6	92.9
空き缶・空きビン	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.7	0.1
その他のごみ	29.4	7.8	2.9	3.7	0.5	3.7	32.7	7.0
総計(100%)	377.4	100.0	77.3	100.0	12.2	100.0	466.9	100.0

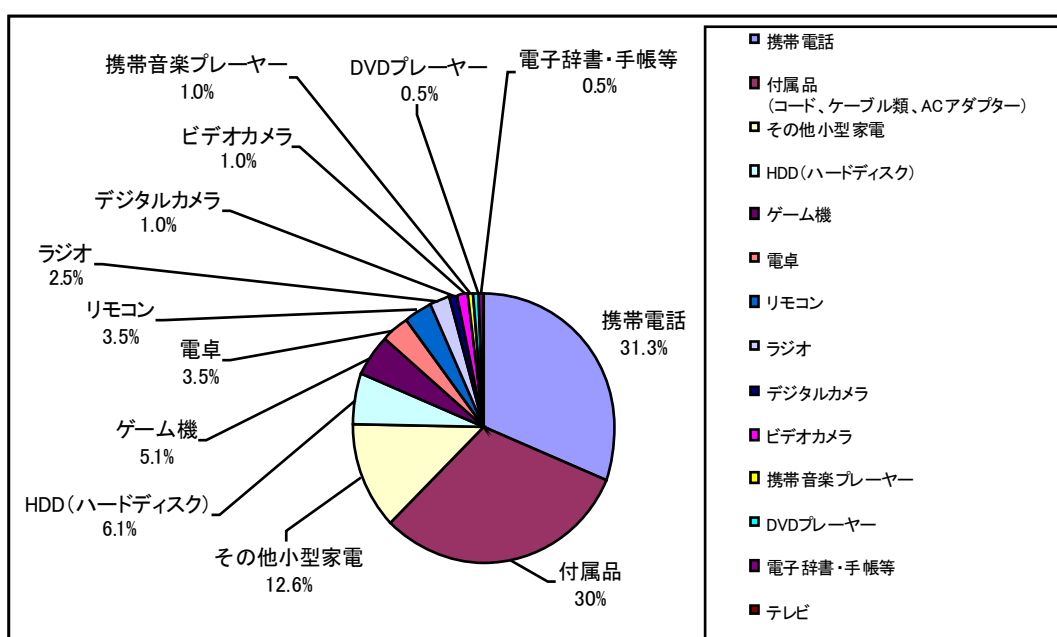


(3) 回収箇所別、品目別 重量高校7カ所回収（平成21年2月16日～3月13日）

		個数			重量	
		個数(個)	構成比(%)	(参考) 常設ボックス 構成比(%)	重量(kg)	構成比(%)
1	携帯電話	62	31.3	19.1	6.40	19.6
2	付属品 (コード、ケーブル類、ACアダプター)	62	31.3	42.2	6.40	19.6
3	その他小型家電	25	12.6	15.3	7.30	22.3
4	HDD(ハードディスク)	12	6.1	1.7	5.20	15.9
5	ゲーム機	10	5.1	2.8	1.45	4.4
6	電卓	7	3.5	3.5	0.67	2.1
7	リモコン	7	3.5	8.7	0.87	2.7
8	ラジオ	5	2.5	1.7	0.53	1.6
9	デジタルカメラ	2	1.0	1.7	0.60	1.8
10	ビデオカメラ	2	1.0	0.2	2.25	6.9
11	携帯音楽プレーヤー	2	1.0	1.8	0.23	0.7
12	DVDプレーヤー	1	0.5	0.2	0.67	2.1
13	電子辞書・手帳等	1	0.5	0.9	0.10	0.3
14	テレビ	0	0.0	0.2	0.00	0.0
合 計		198	100.0	100.0	32.67	100.0

◆青字の網掛け: 市内の常設回収ボックス(店舗、公共施設、大学・高専)より個数ベースで構成比が高い品目

高校におけるボックス回収の構成



2) ピックアップ回収

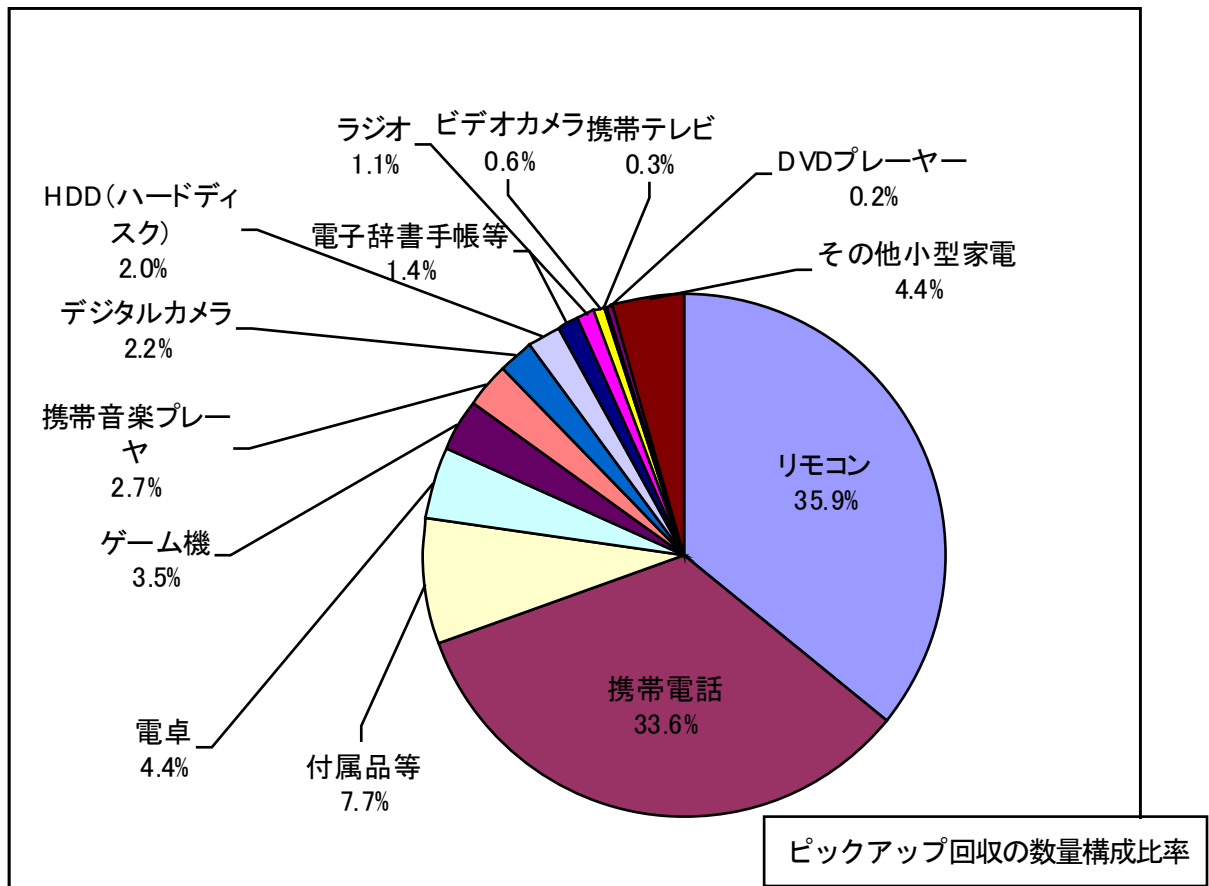
(1) 回収個数/重量

収集期間	収集日	計	
		個数 (個)	重量 (kg)
第1回回収 (12/11~1/31)	2009/2/2~3	1,681	283.5
第2回回収 (2/1~2/14)	2009/2/15	401	62.4
第3回回収 (2/15~2/28)	2009/3/2	269	39.5
合計		2,351	385.4

収集期間	収集日	計	
		個数 (個)	重量 (kg)
第1回回収 (12/11~1/31)	52日	33	5.6
第2回回収 (2/1~2/14)	14日	29	4.5
第3回回収 (2/15~2/28)	14日	19	2.8
日あたり		30	4.9
月 (30日)あたり		893	146.4
(月・1,000人あたり)		6.84	1.12
対象人口 (大牟田市)		130,472 人	

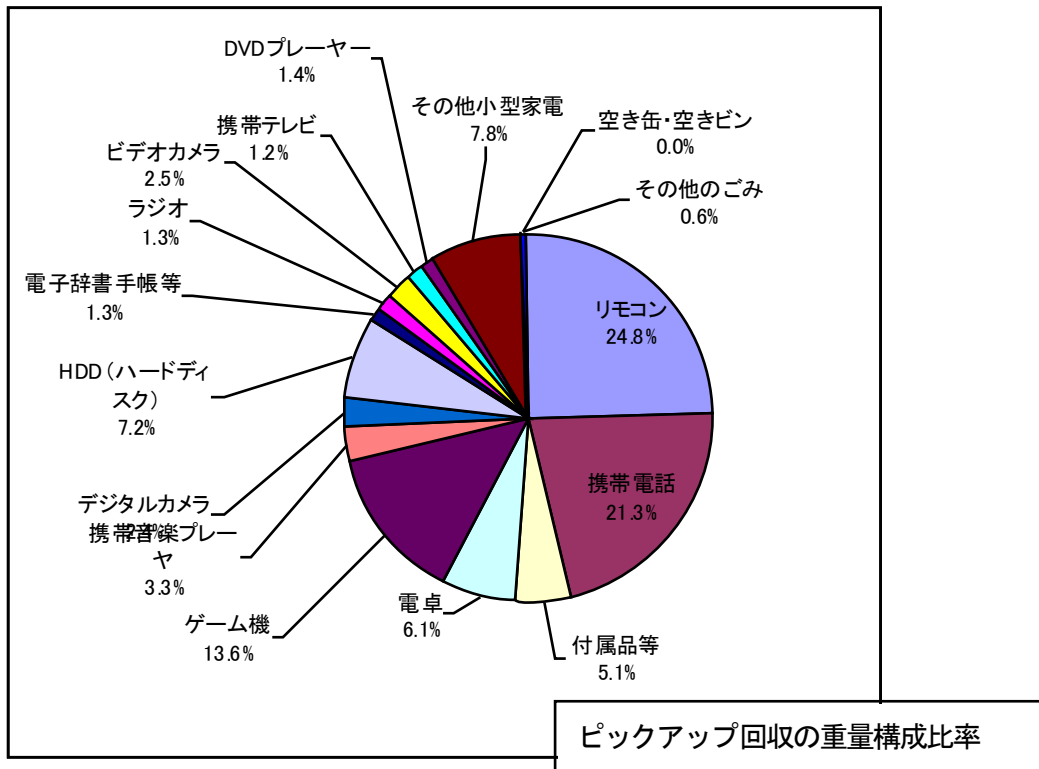
(2-1) 品目別 個数

対象品目	第1回回収		第2回回収		第3回回収		合計	
	個数 (個)	構成比 (%)	個数 (個)	構成比 (%)	個数 (個)	構成比 (%)	個数 (個)	構成比 (%)
リモコン	564	33.6	145	36.2	136	50.6	845	35.9
携帯電話	578	34.4	137	34.2	75	27.9	790	33.6
付属品等	157	9.3	22	5.5	2	0.7	181	7.7
電卓	38	2.3	38	9.5	27	10.0	103	4.4
ゲーム機	61	3.6	17	4.2	4	1.5	82	3.5
携帯音楽プレーヤ	52	3.1	7	1.7	4	1.5	63	2.7
デジタルカメラ	47	2.8	0	0.0	4	1.5	51	2.2
HDD(ハードディスク)	46	2.7	2	0.5	0	0.0	48	2.0
電子辞書手帳等	22	1.3	5	1.2	6	2.2	33	1.4
ラジオ	19	1.1	2	0.5	4	1.5	25	1.1
ビデオカメラ	12	0.7	1	0.2	0	0.0	13	0.6
携帯テレビ	7	0.4	1	0.2	0	0.0	8	0.3
DVDプレーヤー	3	0.2	0	0.0	2	0.7	5	0.2
その他小型家電	75	4.5	24	6.0	5	1.9	104	4.4
合計	1,681	100	401	100	269	100	2,351	100



(2-1) 品目別 重量

対象品目	第1回収		第2回収		第3回収		合計	
	重量 (kg)	構成比 (%)	重量 (kg)	構成比 (%)	重量 (kg)	構成比 (%)	重量 (kg)	構成比 (%)
リモコン	62.8	22.2	16.3	26.1	16.5	41.6	95.6	24.8
携帯電話	59.8	21.1	14.2	22.8	8.2	20.8	82.2	21.3
付属品等	15.9	5.6	3.0	4.8	0.8	1.9	19.7	5.1
電卓	16.3	5.7	3.9	6.3	3.5	8.9	23.7	6.1
ゲーム機	37.3	13.2	13.1	21.0	2.1	5.3	52.5	13.6
携帯音楽プレーヤ	10.5	3.7	1.2	1.9	0.9	2.2	12.6	3.3
デジタルカメラ	8.1	2.9	0.0	0.0	1.3	3.2	9.4	2.4
HDD(ハードディスク)	26.4	9.3	1.2	1.9	0.0	0.0	27.6	7.2
電子辞書手帳等	3.6	1.3	0.6	0.9	0.8	1.9	4.9	1.3
ラジオ	3.8	1.3	0.4	0.6	1.0	2.5	5.2	1.3
ビデオカメラ	7.8	2.8	1.9	3.0	0.0	0.0	9.7	2.5
携帯テレビ	3.9	1.4	0.6	1.0	0.0	0.0	4.5	1.2
DVDプレーヤー	3.4	1.2	0.0	0.0	1.9	4.8	5.3	1.4
その他小型家電	22.1	7.8	5.4	8.7	2.8	7.0	30.3	7.8
小型家電計(100%)	281.7	99.4	61.8	99.0	39.5	100.0	383.0	99.4
空き缶・空きビン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のごみ	1.8	0.6	0.7	1.0	0.0	0.0	2.5	0.6
合計	283.5	100.0	62.4	100.0	39.5	100.0	385.4	100.0



3) 携帯電話の年式・機能別調査

機能別、年代別の携帯電話集計表(ボックスからの回収)

回収期間 20年1月18日 ~ 21年2月28日

表 1. 携帯電話集計表

		回収台数(台)	構成比(%)	年代別分類用 サンプル(台)
カメラあり	ストレート式	7	1.3	7
	折りたたみ式 (スライド式)	293	55.4	58
カメラなし		229	43.3	35
計		529	100	100

◆回収した携帯電話を機能別に分類

表 2. 機能別、年代別分類表

		~1990	1991~1995	1996~2000	2001~2005	2006~2009	合計
カメラあり	ストレート式		0	1	6	0	7
	折りたたみ式 (スライド式)			0	47	11	58
カメラなし		0	3	13	15	4	35
計		0	3	14	68	15	100

◆回収物の一部を抽出して調査

機能別、年代別の携帯電話集計表(不燃物からのピックアップ)

回収期間 20年12月11日 ~ 21年2月28日

表 1. 携帯電話集計表

		回収台数(台)	構成比(%)	年代別分類用 サンプル(台)
カメラあり	ストレート式	6	0.8	6
	折りたたみ式 (スライド式)	521	65.9	64
カメラなし		263	33.3	30
計		790	100	100

◆回収した携帯電話を機能別に分類

表 2. 機能別、年代別分類表

		~1990	1991~1995	1996~2000	2001~2005	2006~2009	合計
カメラあり	ストレート式		0	1	4	1	6
	折りたたみ式 (スライド式)			0	46	18	64
カメラなし		0	0	12	18	0	30
計		0	0	13	68	19	100

◆回収物の一部を抽出して調査

3. アンケート結果

「使用済み小型家電の回収モデル事業」に関する アンケート調査結果（福岡県大牟田市）

1 アンケート調査概要

1) 調査の目的

環境省と経済産業省の「使用済み小型家電回収モデル事業」において、福岡県では大牟田市をモデル地域として、事業を実施している。

本調査では、主として下記の①～③の項目について情報を収集するとともに、アンケートを通じて市民に事業の周知を行うことを目的として実施した。

主な情報収集項目

- ① 大牟田市民の使用済み小型家電の保有状況
- ② 回収モデル事業の認知度及び認知した方法
- ③ 回収モデル事業への協力の意識、事業を効果的に行うための提案など

2) 調査の内容

ア) 調査地域 大牟田市

イ) 抽出方法 無作為抽出方式により、アンケート用紙及び回収モデル事業の周知用ちらしを郵送

ウ) 実施期間 2009年2月3日(郵送)～2月25日(締め切り)

エ) 調査対象属性 18才以上の男女

オ) 抽出数 4600人*

※大牟田市人口 128,531人(2009年2月1日現在 大牟田市ホームページより引用)の約4%に相当

カ) アンケート回収状況

送信数(部) (a)	返信数(部) (b)	有効回答数 (部) (c)	返信率(%) $\left[\frac{b}{a} \times 100 \right]$	有効回答率(%) $\left[\frac{c}{b} \times 100 \right]$
4600	1475	1437	32.1	97.4

キ) 調査票

本資料 p44～48 参照

2 回答者の属性に関する質問項目(性別)

① 調査項目

◆アンケートをお答えいただいているあなたについておうかがいします。

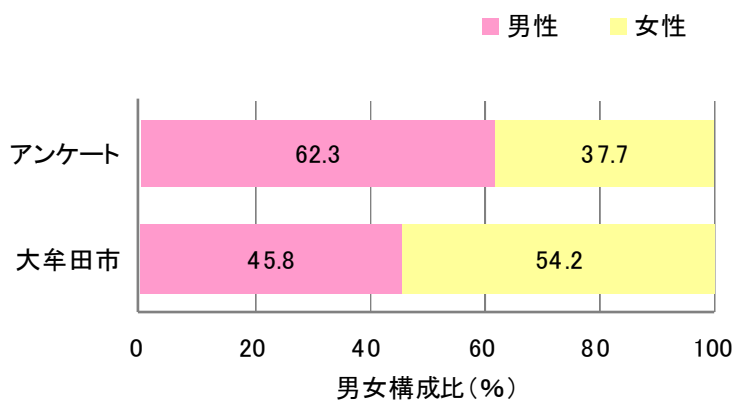
質問1 あなたのご性別について、当てはまるものに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
----------------------------	----------------------------

②集計結果

アンケートの返信数について、男女別の割合を比較した。

返信数の男女別割合は、男性(62.8%)が女性(37.7%)よりも高かった。この、男性の返信割合(62.8%)は、大牟田市における男性の人口割合(45.8%)と比較して高い数値であった。



大牟田市及びアンケート回答者の性別

3 回答者の属性に関する質問項目(年齢)

①調査項目

質問2 あなたのご年齢について、当てはまるものに✓をつけてください。

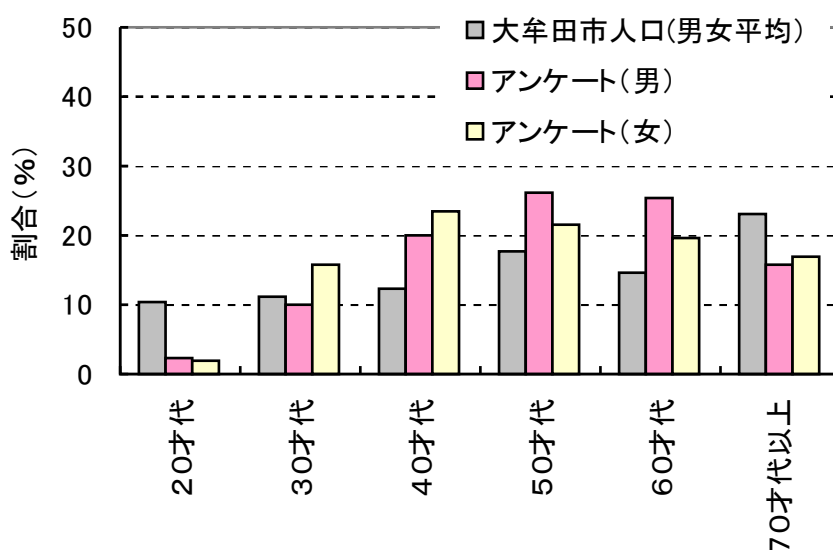
10才代 20才代 30才代 40才代 50才代
60才代 70才以上※

②集計結果

大牟田市の人口とアンケートの回答者の年齢構成について比較を行った。

20才代の返信割合(男性2.5%、女性2.5%)は、大牟田市人口の構成比(10.3)と比べて低かった。一方、50~60才代の男性では、返信割合(25.4~26.4%)が大牟田市人口構成比(14.7~17.6%)よりもやや高かった。

上記のように、アンケート回答者の年齢構成は、大牟田市の人口構成と一致していない年代が見受けられた。



大牟田市人口及びアンケート回答者の年齢構成比較

4 回答者の属性に関する質問項目(同居人数)

①調査項目

質問3 あなたのお家のご同居人数(あなたを含む)について、当てはまるものに✓をつけてください。

1人 2人 3人 4人 5人 6人以上(人)

質問4 あなたのお家のご同居人数(あなたを含む)の内訳について、数字でご記入ください。

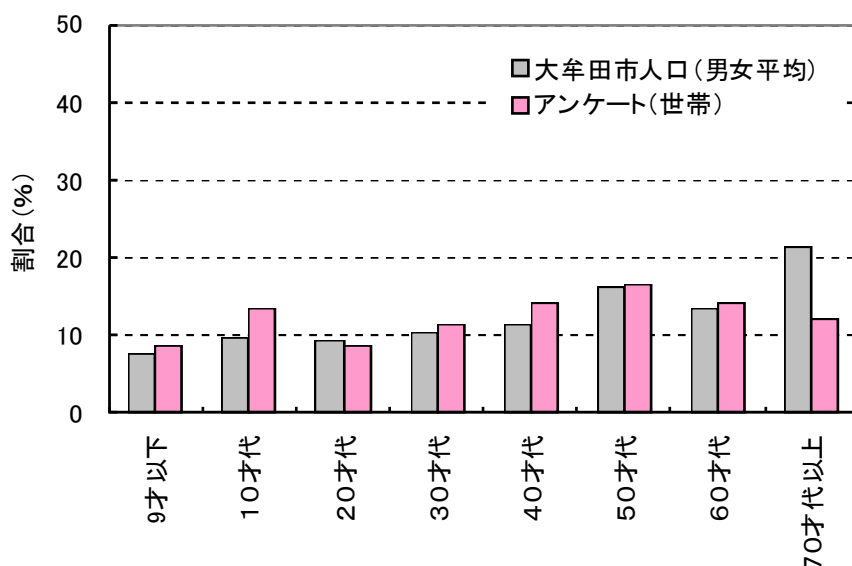
9才以下(人) 10才代(人) 20才代(人)
30才代(人) 40才代(人) 50才代(人)
60才代(人) 70才以上(人)

②集計結果

アンケート回答者の家族構成について、調査を行った。

その結果、回答者の家族を含めた年齢構成と大牟田市の人口構成と比較した場合、70才以上の割合については回答者の割合は12.3%と大牟田市の21.4%と比べてやや少なかったが、おおむねよく似た構成となった。

この調査結果及び小型家電は家族で共有している品目が多いことから、大牟田市民の小型家電の保有状況については、アンケート回答者を含めた家族全体による小型家電保有状況の情報(本資料p25)から推計することが適切と判断した。



大牟田市の人口及びアンケート回答者世帯の年齢構成比較

5 回答者世帯の小型家電保有に関する質問項目

5-1 小型家電所有の有無

① 調査項目

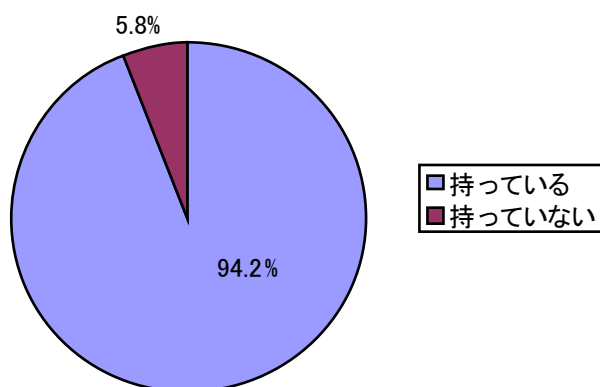
◆小型家電の所有状況についておたずねします。

質問5 現在、あなたを含むご家族は、質問6に示した小型家電を所有されていますか？ あてはまるものに✓を付けてください。

所有している（質問6へ） 所有していない（質問8へ）

② 集計結果

回答者を含む家族が、小型家電を所有しているかどうか調査した。その結果、94.2%が小型家電を所有していることが分かった。



アンケート回答者世帯の使用済み小型家電所有状況

5-2 小型家電所有量

① 調査項目

質問6 現在、あなたを含むご家族が所有されている小型家電の種類と台数、おおよその使用年数について教えてください。

	品目	使用していない 小型家電（台）	使用中の小型家電	
			台数（台）	おおよその使用年数（年）
回 答 例	携帯電話	2	3	1台目 1年 2台目 約5年 3台目 不明（10年以上前）

② 集計結果

保有量が最も多かったのは、使用済み、使用中小型家電共に携帯電話で、次に電卓の順となった。3番目に多かったのは、使用済みについては小型ゲーム機、使用中についてはデジカメとなった。

アンケート回答世帯の小型家電保有状況

	小型家電品目	使用・使用済み 合計台数 (個台)	使用済み 小型家電 (個)	使用中 小型家電 (個)	使用中・小型家電 平均使用年数 (年)
1	携帯電話	4,306	1,535	2771	2.6
2	電卓	3,552	1,020	2533	6.5
3	小型ゲーム機	1,535	468	1067	3.5
4	デジカメ	1,340	219	1121	3.0
5	携帯用ラジオ	1,130	368	762	6.5
6	ポータブル 音楽プレーヤー	1,102	301	801	4.4
7	電子辞書	855	258	597	3.7
8	ビデオカメラ	791	272	519	6.2
9	HDD	754	203	552	3.1
10	ポータブル DVDプレーヤー	604	150	454	3.2
11	携帯型テレビ	200	86	114	3.2
	合計	16,169	4,879	11290	4.3

※有効回答数 1437 人。有効回答者世帯人数 4214 人。

<大牟田市民の小型家電保有数の推計>

アンケート回答者の小型家電保有状況をもとに、大牟田市民が保有する小型家電保有状況の推計を行った。

その結果、大牟田市民の推定使用済み小型家電保有数は11品目合計で150,124個(1.2個/人)、推定使用中小型家電保有数347,495個(2.7個/人)、合計497,619個(3.9個/人)となった。

また、回収モデル事業で集まった小型家電数と推定使用済み小型家電保有数を比較し、現時点(事業開始約2ヶ月)での回収率を算出した。

その結果、携帯電話の回収率2.8%が最も多く、ついでデジカメ及びHDDが1.5%、11品目全体の平均回収率は1.43%であった。

大牟田市民の推定小型家電保有数 と モデル事業回収量との比較

No.	小型家電	大牟田市民の推定小型家電保有数(個) ^{※1}			モデル事業での回収量(個) ^{※2} (B)	回収率 ^{※3} (%) (B/A) × 100
		使用済み(A)	使用中	合計		
1	携帯電話	47,368	85,265	132,633	1,319	2.8
2	デジカメ	6,680	34,558	41,237	97	1.5
3	ビデオカメラ	8,388	16,013	24,401	18	0.2
4	携帯用ラジオ	11,438	23,516	34,954	71	0.6
5	携帯型テレビ	2,623	3,508	6,131	13	0.5
6	電卓	31,370	78,110	109,481	200	0.6
7	電子辞書	7,900	18,430	26,330	57	0.7
8	小型ゲーム機	14,396	32,682	47,078	160	1.1
9	ポータブル音楽プレイヤー	9,196	24,530	33,726	114	1.2
10	ポータブルDVDプレイヤー	4,581	13,908	18,490	10	0.2
11	HDD	6,184	16,974	23,158	95	1.5
	合計	150,124	347,495	497,619	2,154	1.43

※1 大牟田市民の推定小型家電保有数(個) = $\frac{\text{回答者全世帯所有数(個)}}{\text{回答世帯人数(人)}} \times \text{大牟田市人口(人)}$

※2 回収期間: ボックス回収 H21.1.18-2.28(42日間)、ピックアップ回収 H20.12.11-H21.2.28(80日間)

※3 回収率(%) = $\frac{\text{回収モデル事業の回収量合計(個)}}{\text{大牟田市民の推定使用済み小型家電保有数(個)}} \times 100$

<品目別の退蔵傾向と回収量増加が期待される品目>

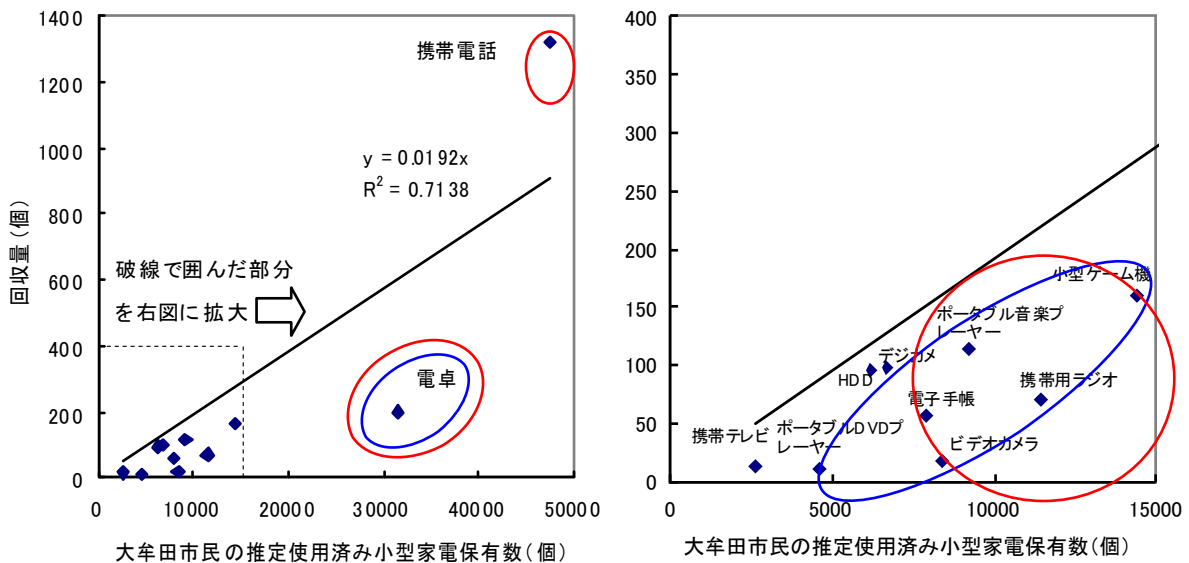
「大牟田市民の推定使用済み小型家電保有数」と「モデル事業での小型家電回収量」の相関関係を調べた。

その結果、保有台数が多い小型家電ほど、回収量も多くなる傾向がみられた。

ただし、**青で囲んだ品目**については、退蔵傾向が高いことがうかがえた。

一方、**赤で囲んだ品目**は、推計保有数が比較的多い。

今後、青及び赤で囲んだこれらの品目について重点的に周知を行うことにより、回収量を増加できる可能性がある。



大牟田市民の推定保有数と回収量(事業開始後約2ヶ月時点)との関係

(退蔵傾向が高い品目)

電卓、小型ゲーム機、携帯用ラジオ、ビデオカメラ、ポータブルDVDプレーヤー、電子辞書など

(保有量が多い品目)

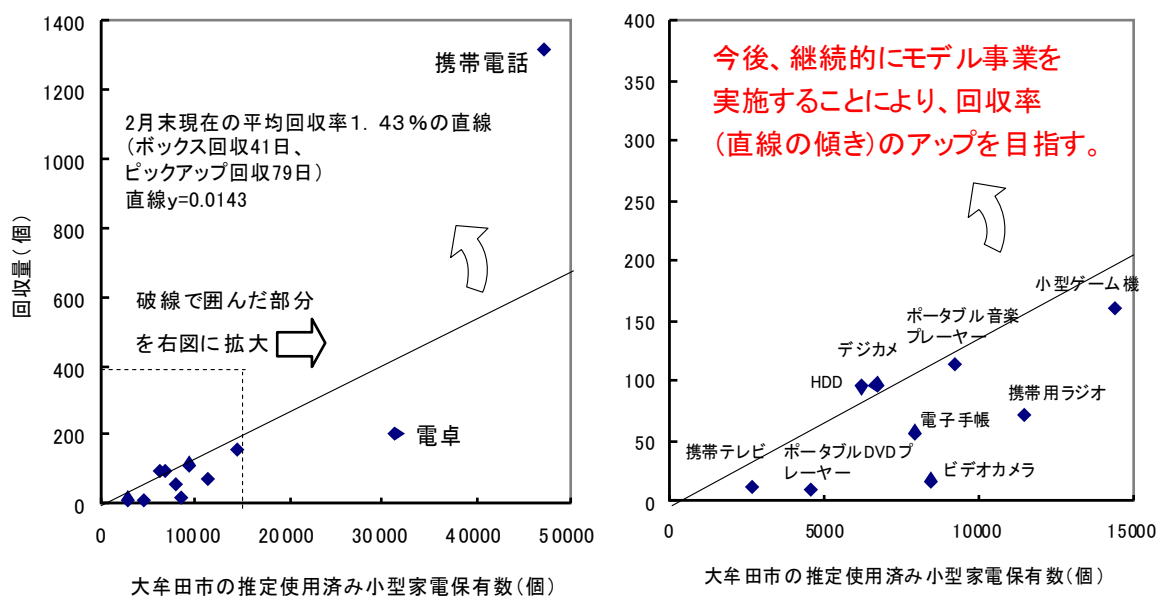
携帯電話、電卓、小型ゲーム機、携帯用ラジオ、ポータブル音楽プレーヤー、ビデオカメラ、電子辞書など

今後、周知活動の強化により、回収が期待できる小型家電

<推計小型家電保有数を活用した回収状況の表示と推移の把握>

下図は、推定使用済み小型家電保有数と品目別回収量の相関図に、p26 表中の平均回収率(傾き $a=0.0143$)の直線を記入したものである。

この図をもとに、今後、一定期間(例えば、半年、1年)ごとに、回収量をグラフ上にプロットすることにより、品目別及び平均回収率(直線の傾き)の推移の概況を把握することができる。



推計小型家電保有数を活用した回収率の表示例

各時点における回収対象小型家電保有数(品目別)の推定方法

今回のアンケート調査では、使用中の小型家電保有台数と平均使用年数を品目ごとに把握した(本資料 p25 参照)。

この情報を利用して、次式※により、事業開始後一定期間後の使用済み小型家電保有数を推定し、上記グラフの横軸(保有数)についても時点修正を行うことにより、新たに使用済みとなった小型家電を含めた事業開始一定期間後の回収率を推定する方法が考えられる。

ただし、品目によってはアンケート開始後、保有数が大幅に変動することも考えられることから、より合理的な回収率の調査、算定方法(回収モデル事業の進行管理、評価方法)の開発が望まれる。

※事業開始 n年後の回収対象小型家電保有数の算定例(品目別)

$$\begin{array}{l} \text{推定使用済み小型} \\ \text{家電保有数} \\ \text{(事業開始時点)} \end{array} + \frac{\text{推定使用中の小型家電保有数}}{\text{推定小型家電平均使用年数(注)}} \times n$$

(注)アンケートで把握した平均使用年数の2倍で設定

6 回答者の小型家電処分方法に関する質問項目

①調査項目

◆ 小型家電の処分方法についておたずねします。

質問7 あなたは、過去に小型家電をどのように処分されたことがありますか？ あてはまるものにすべてに✓をつけてください。（複数回答可）

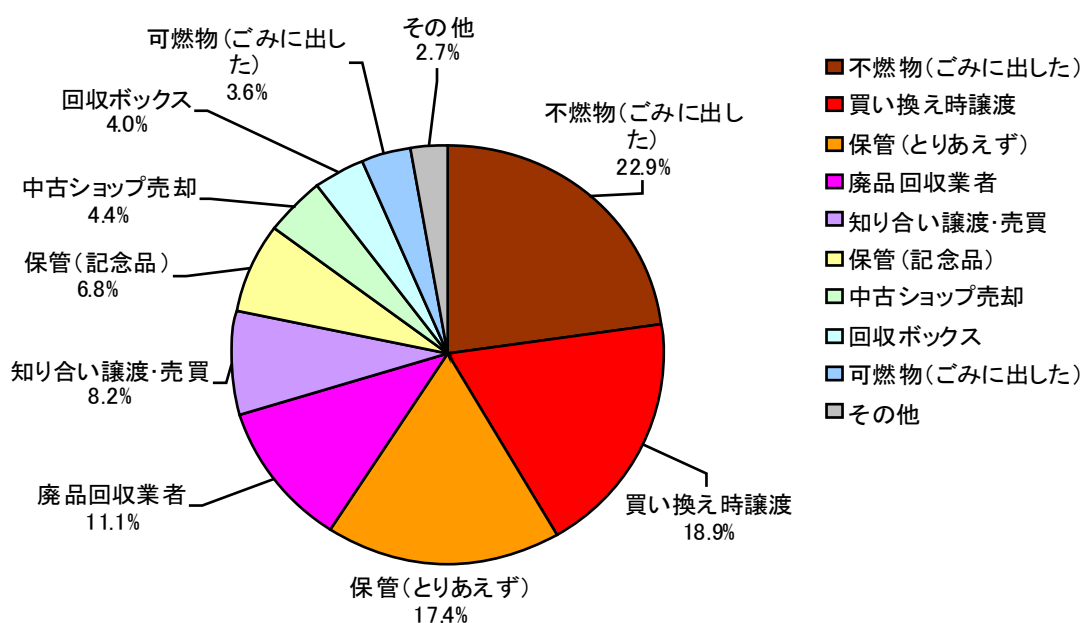
<input type="checkbox"/> ごみに出した（ <input type="checkbox"/> 不燃物、 <input type="checkbox"/> 燃えるごみ）	<input type="checkbox"/> 中古ショップに売った
<input type="checkbox"/> 買い換えの時に販売店に渡した	<input type="checkbox"/> 知り合いにあげた・売った
<input type="checkbox"/> 記念品として保管している	<input type="checkbox"/> とりあえず保管している
<input type="checkbox"/> 小型家電回収ボックスに出した	
<input type="checkbox"/> 回収に回っている廃品回収業者に出した	
<input type="checkbox"/> その他（	）

②集計結果

過去に行った小型家電の処分方法について、調査を行った。その結果、最も多かったのが“不燃物に出す”で22.9%、次に“買換時の譲渡”で18.9%、“とりあえず保管する”で17.4%の順であった。

お金がもらえるなどインセンティブが発生している可能性がある処理方法については、“廃品回収業者に出した”で11.1%、“知り合いに譲渡・売買”で8.2%、“中古ショップに売却”で4.4%の合計23.7%であった。

ごみとして出す場合は、“不燃物として出す”（22.9%）が、“可燃物として出す”（3.8%）より大幅に多い。このため、不燃物からのピックアップは、排出されたごみからの回収方法としては適切であると考えられる。



過去に行った小型家電の処分方法

7 小型家電回収モデル事業に周知に関する質問項目

7-1 認知率

①調査項目

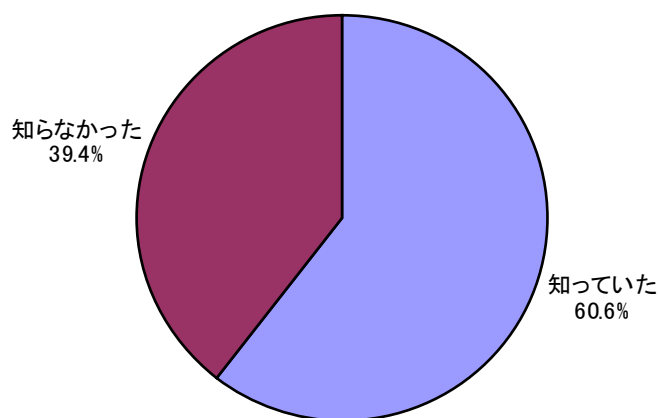
◆「使用済み小型家電の回収モデル事業」について、おたずねします。

質問8 現在、大牟田市は、使用済みの小型家電を集める事業を行っていますが、ご存じでしたか？ あてはまるものに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 知っていた <input type="checkbox"/> 知らなかった
--

②集計結果

回収モデル事業の認知度について調査を行った結果、“知っている”と回答した割合は60.6%であった。



本事業の認知率※

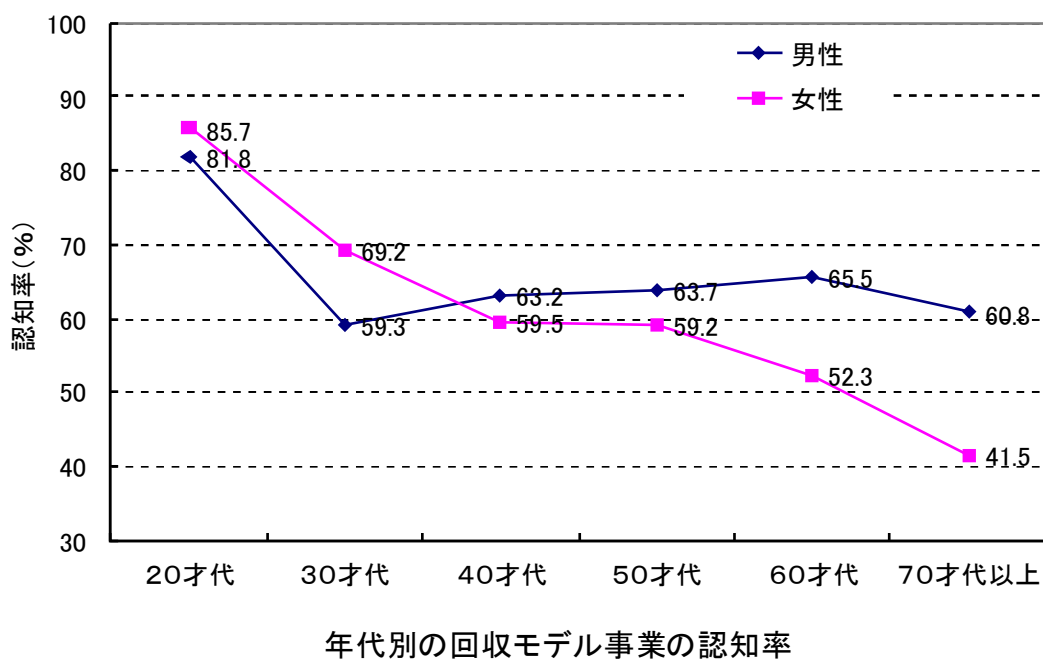
$$\text{※認知率} = \frac{\text{”知っていた”の回答数}}{\text{”知っていた”の回答数} + \text{”知らなかった”の回答数}} \times 100$$

<年代別、男女別の周知度>

回収モデル事業の認知度を回答者の属性ごとに比較した。

その結果、認知率は、男性女性ともに、20才代で最も高くなった(男性85.7%、女性81.8%)。

女性は、高年齢層に向かうにしたがい認知率は低下する傾向がみられた。一方、男性は、40才代で69.3%にやや低下するものの、30才代以降59.3%~65.5%のほぼ横ばいで推移した。



7-2 認知方法

①調査項目

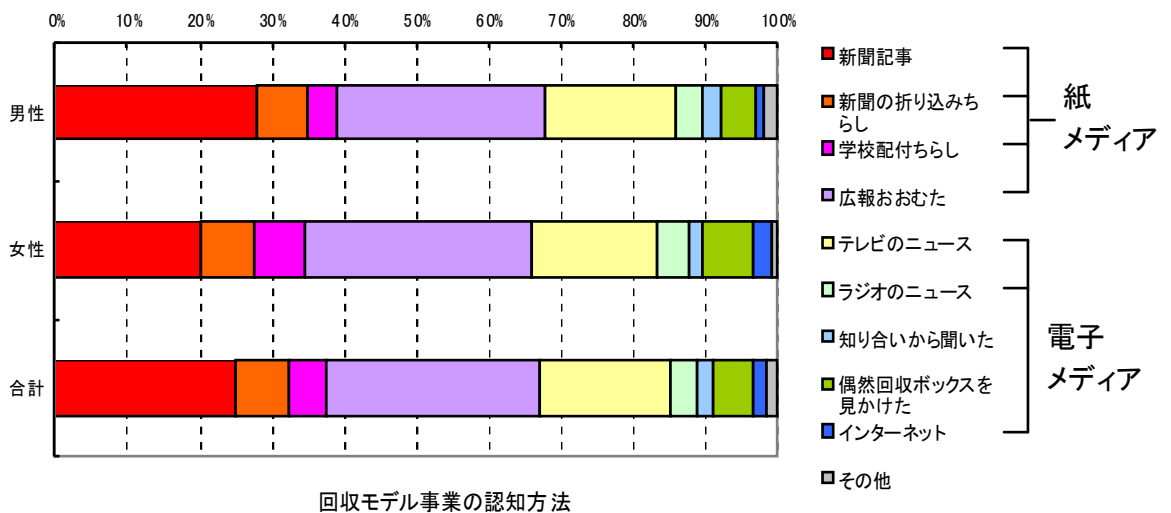
質問9 上記事業をどのように知りましたか？ あてはまるものすべてに✓をつけてください。（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 新聞記事	<input type="checkbox"/> 新聞の折り込みちらし	<input type="checkbox"/> 学校で配付されたちらし
<input type="checkbox"/> 広報おおむた	<input type="checkbox"/> テレビのニュース	<input type="checkbox"/> ラジオのニュース
<input type="checkbox"/> 知り合いから聞いた	<input type="checkbox"/> 偶然回収ボックスを見かけた	<input type="checkbox"/> インターネット
<input type="checkbox"/> その他（		）

②集計結果

回収モデル事業を知っていた人を対象に、事業認知方法について調査を行った。その結果、全体では市広報誌の“広報おおむた”で知った割合が最も多かった。メディア別では、紙媒体の合計（広報おおむた、新聞記事、折り込みちらし、学校配付ちらし）は、67.3%、電子媒体の合計（テレビのニュース、ラジオのニュース）は、23.4%であった。

回答者の性別で比較すると、男性では“新聞記事”が27.8%と女性の20.1%より高かった。また、女性では、“偶然ボックスを見かけた”が7.2%と男性の4.7%より高かった。



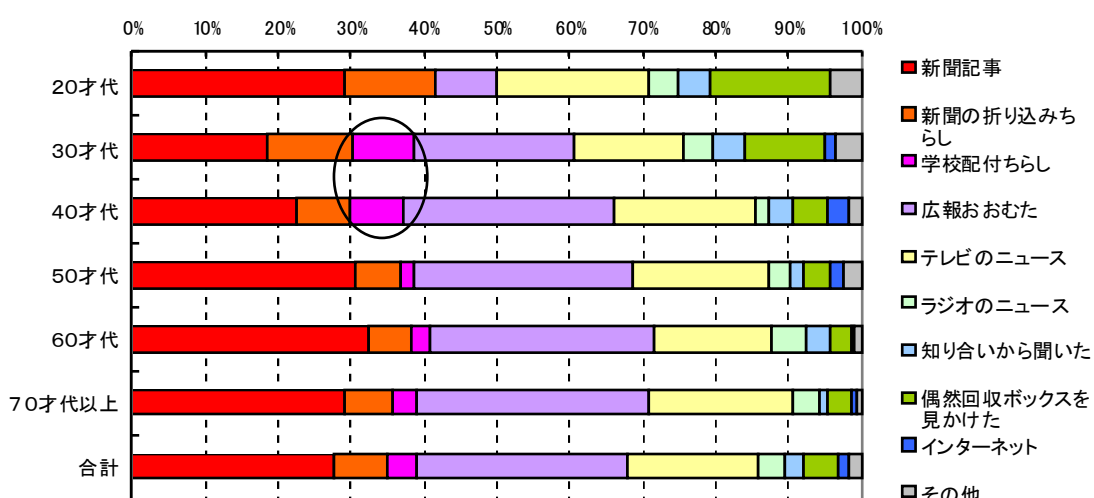
<年齢別、年代別の認知方法>

回収モデル事業の認知方法について、回答者の年齢別に比較を行った。

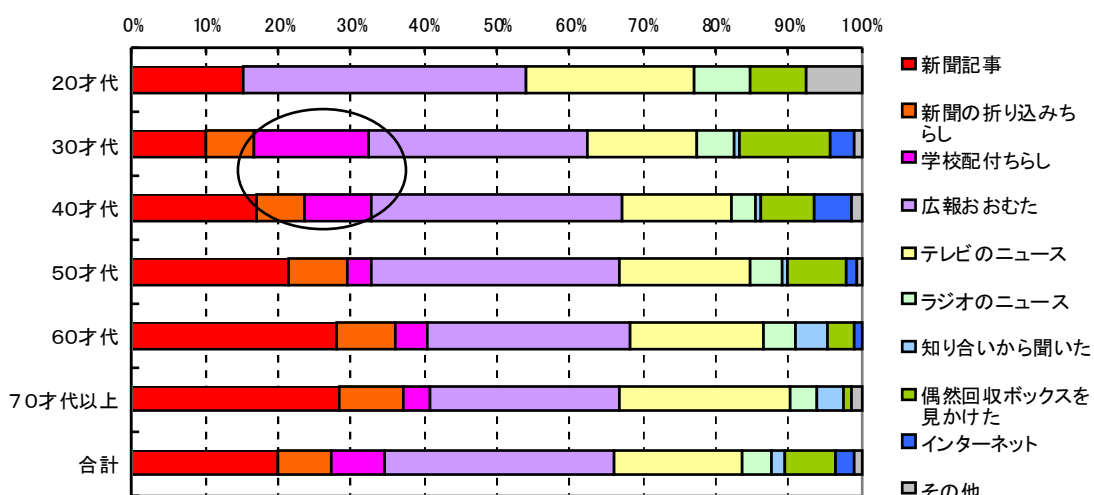
その結果、“新聞記事”による認知方法については、男性が50～60才代で30.7%～32.3%と他の年代18.5%～29.2%よりも高かった。

同様に、女性においても60～70才代で27.9%～28.4%と他の年代10.0%～21.3%よりも高かった。

また、“学校配付ちらし”については、男性女性ともに、30～40才代において、他の年代よりも高かった。これは、小中学生を対象に学校でちらしを配付した効果がたものと推測される。



本事業の年齢別認知方法(男性)



本事業の年齢別認知方法(女性)

7-3 その他の周知方法

①調査項目

質問10 この事業をもっと多くの市民の方に知っていただくために、上記以外によりお知らせ方法があればご記入ください。（自由記入）

②集計結果

	回答者人数	割合(%)
配布方式の紙メディアによる周知 (広報誌、ちらし、回覧板、雑誌掲載など)	81	23.9
自治体によるPR活動 (HP開設、封筒印字、広報車、説明会など)	75	22.1
掲示型の紙メディアによる周知 (ポスター、看板、つり下げちらしの掲示など)	48	14.2
企業とのコラボレーション活動 (店内放送、売り出しちらしへの掲載)	41	12.1
現在の手法による事業拡大(ボックスの増設など)	37	10.9
テレビ・ラジオの活用(CM,特集番組など)	25	7.4
その他 ・不燃物袋に小型家電をいれるよう記入 ・ごみカレンダーに掲載 ・設置場所を目立つような色、形にする。 ・人が集まる場所で知らせる。 (イベント、公民館、会社、学校など) ・戸別に訪問 など	32	9.4

有効回答数 n=339

8 協力の意志に関する質問項目

①調査項目

質問11 この事業では小型家電の回収ボックスをスーパー、ホームセンター及び市役所等に設置しています（設置場所の詳細は同封のちらしをご参照ください）。あなたは、小型家電の無償回収に協力したいと思われますか？ あてはまるものに✓をつけてください。

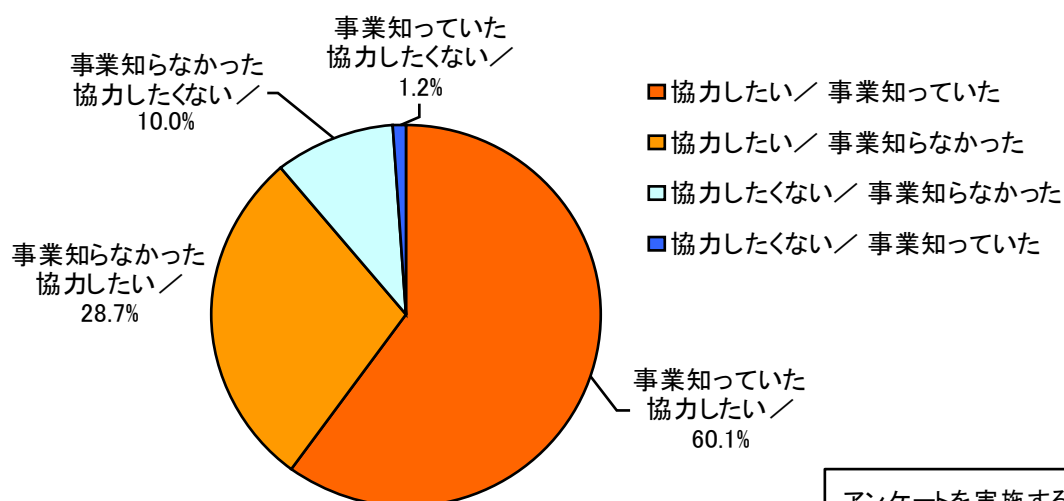
協力したい（質問12へ） 協力したくない（質問13へ）

②集計結果

回収モデル事業への有無を調査するとともに、質問8の認知率の結果と合わせて集計を行った。

その結果、事業に“協力したい”と回答した人は、全体の88.8%であった。そのうち28.7%は本アンケートにより事業を認知しており、アンケートによる周知効果があったことがうかがえた。

また、“事業を知らなかった人で協力したくない”は10.0%で、“事業を知っていたが協力したくない”の1.2%よりも多かった。



アンケートを実施することにより、新たに協力するとの意志を持っていただいた市民の方々

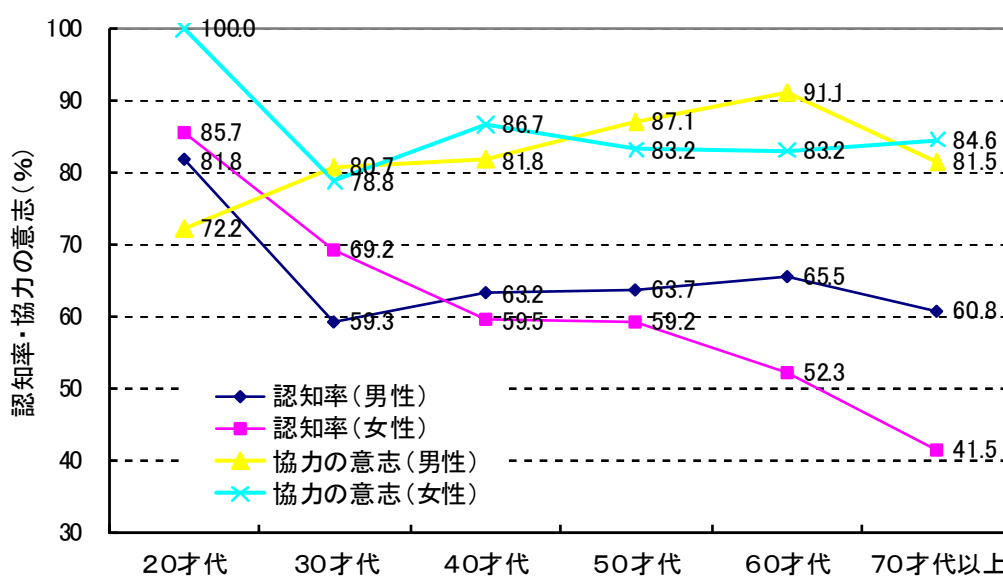
	回収事業知っていた	回収事業知らなかった	合計
協力したい	731 (60.1%)	349 (28.7%)	1080 (88.8%)
協力したくない	14 (1.2%)	122 (10.0%)	136 (11.2%)
合計	745 (61.3%)	471 (38.7%)	1216 (100%)

<協力の意志と認知率>

回収モデル事業に対する協力の意志と認知率(本資料 p31 参照)について、年代別に比較を行った。

その結果、男性の協力の意志は、20代において72.2%であり、30才以降80.7%~91.1%で推移した。一方、女性は20才で100%であり、30才以降80.7%~86.7%で推移した。

回収事業への協力者を増やすためには、協力の意志が高いにもかかわらず、認知率がやや低い、高年齢層や女性への周知を十分に行うことが効果的であると思われた。



協力の意志と認知率(性別、年代別)

9 事業を効果的に行うための質問項目

9-1 持参できる既存の回収場所

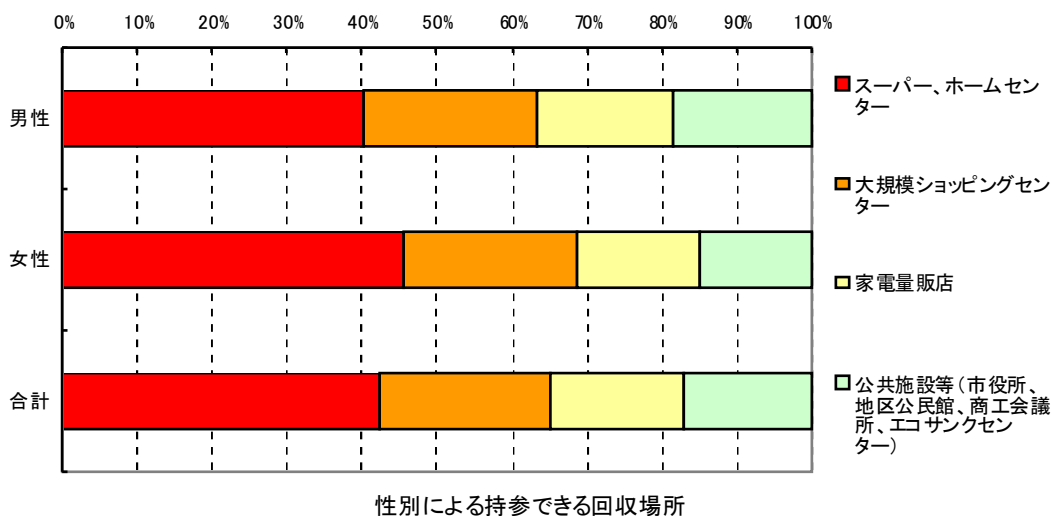
①調査項目

質問12 回収にご協力いただける場合、どこの回収ボックスに持参されますか？

<input type="checkbox"/> スーパー、ホームセンター	<input type="checkbox"/> 大規模ショッピングセンター
<input type="checkbox"/> 家電量販店	<input type="checkbox"/> 公共施設等（市役所、地区公民館、商工会議所）
<input type="checkbox"/> エコサックセンター	

②集計結果

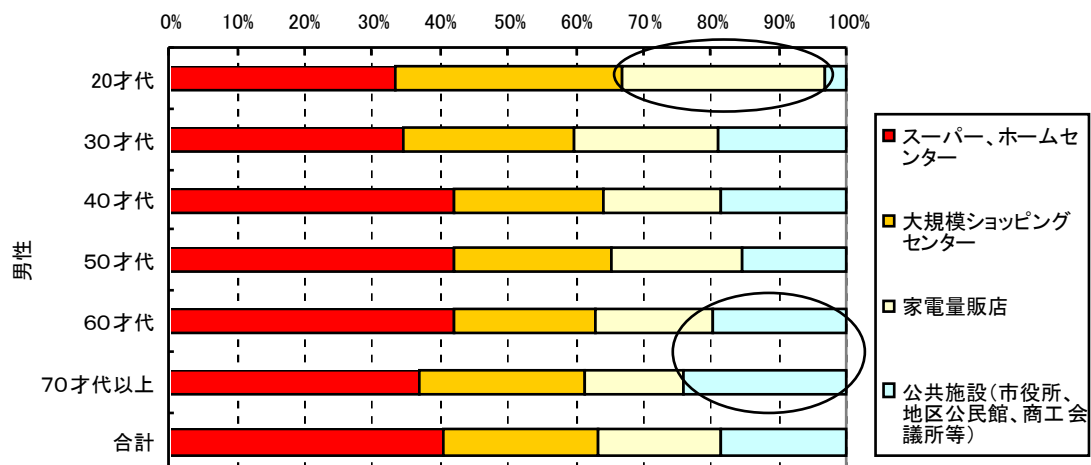
小型家電を持参できる既存の回収ボックスの場所について調査を行った。その結果、“スーパー、ホームセンター”が女性で45.7%と男性の40.3%より高かった。また、男性女性ともに、店舗関係（スーパー、ホームセンター、大型ショッピングセンター、家電量販店）で8割以上を占めた。



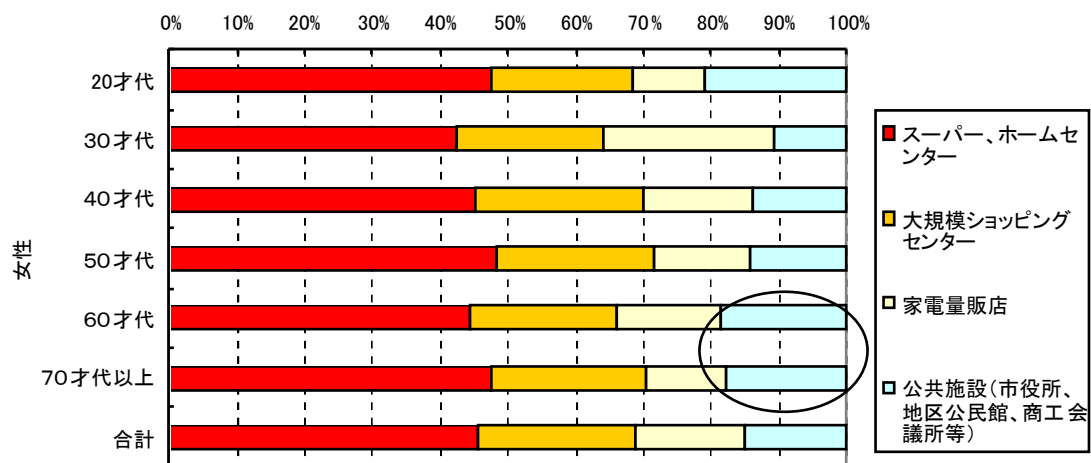
<性別、年代別の持参希望場所>

年代別に持参できる場所の集計を行った。

その結果、男性20才代の30.0%が“家電量販店”と回答しており、男性の他年代17.3%～21.3%よりも高かった。また、男性女性ともに、60～70才代で“公共施設”と回答した割合が高く傾向がみられた。



年代別の持参できる回収場所(男性)



年代別の持参できる回収場所(女性)

<持参希望場所と回収実績>

市民が小型家電の持参を希望する場所と実績の回収量を比較した。

その結果、“スーパー、ホームセンター”で回収された割合(51.8%)は、“スーパー、ホームセンター”への持参希望割合(42.3%)よりも高かった。

一方で、“家電量販店”で回収された割合(10.3%)は、“家電量販店”への持参希望割合(17.6%)よりも低かった。回収ボックスを設置した家電量販店が1店舗であることを考えると、今後ボックス設置に協力してもらえる家電量販店を増やすことで、回収量を効果的に増やせる可能性がある。

市民の持参希望場所及び回収実績の比較

	スーパー、 ホームセンター	大規模ショッピ ングセンター	家電量販店	公共施設
持参希望持参 (%)	42.3	23.0	17.6	17.1
回収割合 (%)	51.8	20.5	10.3	17.5
ボックス設置箇所 (箇所)	15	1	1	10

9-2 新規の回収ボックス設置場所

①調査項目

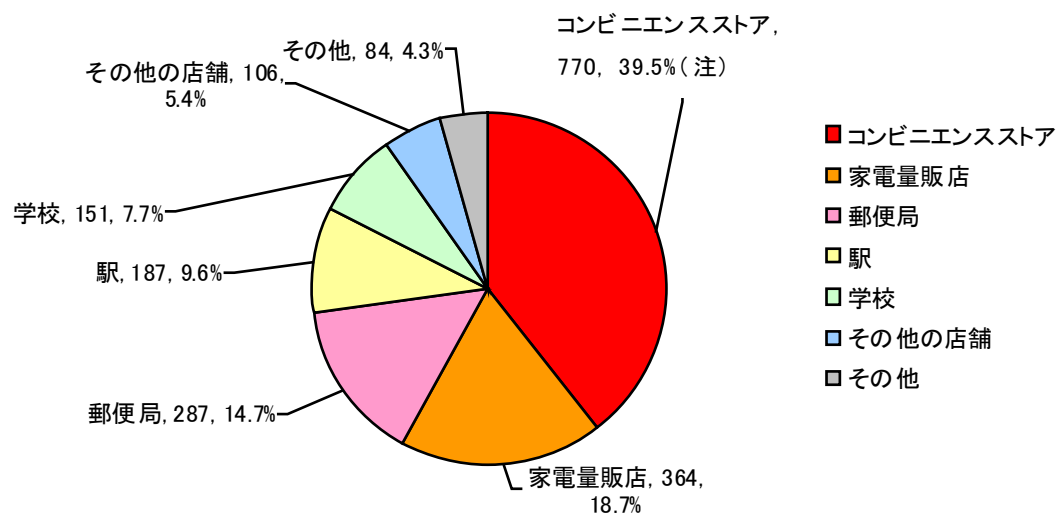
質問13 現在の設置場所の他に、どこに回収ボックスを置いたらよいと思いますか？ あてはまるものすべてに✓をつけてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 郵便局	<input type="checkbox"/> 駅	<input type="checkbox"/> コンビニエンスストア	<input type="checkbox"/> 家電量販店
<input type="checkbox"/> その他の店舗 (店舗の種類			
<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> その他 (

②集計結果

新たに回収ボックスの設置を希望する場所について、調査を行った。

その結果、コンビニエンスストアが39.5%と最も多く、家電量販店18.7%、郵便局14.7%、駅9.6%、学校7.7%の順となった。



現在の設置場所以外に希望する回収ボックス設置場所

(注)ラベル左上から順に”設置場所”, ”回答数”, ”割合(%)”

9-3 他の回収方法

①調査項目

質問14 回収ボックス以外では、どのような回収方法がよいと思いますか？（自由記入）

②集計結果

	回答者人数	割合(%)
市が資源物を回収する日(注:リサイクルの日)に、市民が持ち込み、分別して回収する。	227	47.2
市が回収する(上記以外)	100	20.8
その他の団体が回収する。(市、集団回収以外)	54	11.2
地域の集団回収を活用する(学校、PTA、子供会)	31	6.4
引き渡し時にメリットを与える。(有価買取、景品交換)	13	2.7
その他 ・自宅前に回収容器で出す。(容器は自宅保管) ・電話により取りにきてほしい ・回収不可能物の投入を防止するため係員を配置など	56	11.6

有効回答数 n=481

(注)リサイクルの日・・・現在、地域ごとに(2週間に1回程度)、資源物集積所で缶・ビン、ペットボトル・白色トレイ、紙類。古布・古着を回収。集積所ではリサイクル委員が分別を指導

9-4 回収モデル事業の評価

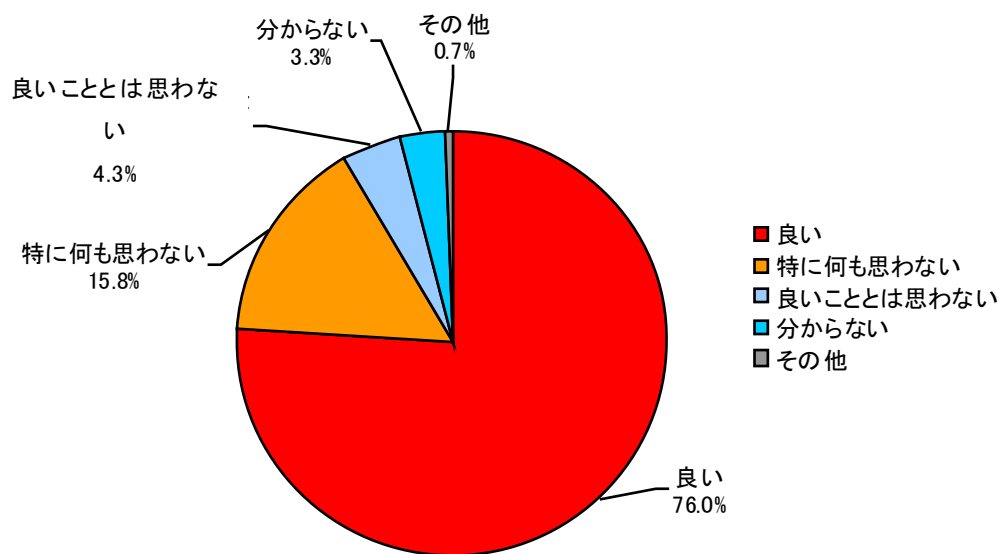
①調査項目

質問15 このような小型家電回収の取り組みをどう思いますか？あてはまるものに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 特に何も思わない	<input type="checkbox"/> 良いこととは思わない
<input type="checkbox"/> 分からない		
<input type="checkbox"/> その他 ()		

②集計結果

回収モデル事業について、市民の評価を調査した。その結果、76.0%が“良い”との意見であった。また、“良いこととは思わない”との意見は4.3%であった。



回収モデル事業をどのように思うか

9-5 回収モデル事業への意見

①調査項目

質問16 最後に、使用済み小型家電の回収について、どのようにしたらより市民の皆様のご協力がいただけるかなど、このような事業を効果的に行うためのご意見ご要望等がありましたらお書きください。(自由記入)

②集計結果

	回答者人数	割合(%)
事業の趣旨、内容を十分に周知する。	111	25.5
事業の実施状況、成果を公表する。	65	14.9
ごみ又は資源物として回収する。	55	12.6
協力した市民にメリットを与える。 (お金、景品との引替等)	51	11.7
チラシ、パンフ、カレンダー、ポスター等を増やす。	45	10.3
回収拠点を増やす。	22	5.0
回収品目を増やす。	15	3.5
協力的な意見(おほめのことば)	13	3.0
事業規模、メンバーの拡大(企業の参加など)	7	1.6
その他 ・投入口をもっと大きくしてほしい。 ・故障した携帯は個人情報が消去できず心配 ・職員が地域での回収活動に参加してほしい など	51	11.7

有効回答数 n=435

(公印省略)

平成 21 年 2 月 3 日

大牟田市民の皆様

大牟田市長
古賀 道雄

「使用済み小型家電の回収モデル事業」に関する アンケートについて（依頼）

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、本市では、「広報おおむた」などにてご案内のとおり、環境省及び経済産業省の「使用済み小型家電の回収モデル事業」を、福岡県と連携して実施することになりました。

この事業は、市民の皆様のご協力によりデジタルカメラや携帯電話など使用済みの小型家電を回収し、部品などに使用されているレアメタルの再生利用を目指すものです。

このレアメタルは、地球上に少ししかない大切な資源ですが、小型家電で使用されているレアメタルは、再生利用されずにほとんどが埋立処理されているのが実態です。

今回、この事業を効率的に行うため、市民の皆様を対象に、アンケートを実施することにいたしました。

この調査の趣旨をご理解いただき、下記により回答していただきますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1 回収方法

アンケート調査票にご回答のうえ、同封の返信用封筒にて返送願います。
(返信用切手は不要です)

2 回答期限

平成21年2月25日(水)までに投函願います。

《お問い合わせ先》

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
大牟田市産業経済部産業振興課 TEL：0944-41-2724

使用済み小型家電の回収モデル事業に関するアンケート調査

大牟田市では、環境省及び経済産業省による「使用済み小型家電^{※1}の回収モデル事業^{※2}」に参加しています。

この事業は、皆様の協力により、使用済みの小型家電を回収し、大切な資源であるレアメタルをもう一度再生利用することを目指した、全国でも先駆的な取り組みとなっています。

今回、無作為に抽出する方法により選ばせていただいた市民の皆様を対象に、この事業に関するアンケート調査を実施することにいたしました。

ご回答いただいたアンケート結果は、効率的な事業運営のために活用させていただきます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

大牟田市

※1 使用済み小型家電

使わなくなったデジカメ、ビデオカメラ、ポータブル音楽プレーヤーなど小型の家庭用電気・電子機器のことです。

※2 回収モデル事業

使用済みの小型家電を回収するため、大牟田市と福岡県が連携して実施しています。全国で3箇所がモデル地区として採択され、福岡県以外では秋田県と茨城県で実施されています。

使用済み小型家電の回収は、市内店舗や公共施設など30ヶ所に回収ボックスを設置し、2009年1月18日から開始しています。使用済み小型家電の回収につきましても、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

◆アンケートをお答えいただいているあなたについておうかがいします。



質問1 あなたのご性別について、当てはまるものに✓をつけてください。

男 女

質問2 あなたのご年齢について、当てはまるものに✓をつけてください。

10才代 20才代 30才代 40才代 50才代 60才代 70才以上

質問3 あなたのお家のご同居人数（あなたを含む）について、当てはまるものに✓をつけてください。

1人 2人 3人 4人 5人 6人以上（ ）人

質問4 あなたのお家のご同居人数（あなたを含む）の内訳について、数字でご記入ください。

9才以下（ ）人 10才代（ ）人 20才代（ ）人 30才代（ ）人
40才代（ ）人 50才代（ ）人 60才代（ ）人 70才以上（ ）人

◆小型家電の所有状況についておたずねします。

質問5 現在、あなたを含むご家族は、質問6に示した小型家電を所有されていますか？ あてはまるものに✓を付けてください。

所有している（質問6へ） 所有していない（質問8へ）

質問6 現在、あなたを含むご家族が所有されている小型家電の種類と台数、おおよその使用年数について教えてください。

	品目	使用していない 小型家電（台）	使用中の小型家電	
			台数（台）	おおよその使用年数（年）
回答例	携帯電話	2	3	1台目 1年 2台目 約5年 3台目 不明（10年以上前）
1	携帯電話			
2	デジカメ			
3	ビデオカメラ			
4	携帯用ラジオ			
5	携帯型テレビ			
6	電卓			
7	電子辞書			
8	小型ゲーム機			
9	ポータブル音楽プレーヤー			
10	ポータブルDVDプレーヤー			
11	HDD(ハードディスク)			



◆ 小型家電の処分方法についておたずねします。

質問7 あなたは、過去に小型家電をどのように処分されたことがありますか？ あてはまるものにすべてに✓をつけてください。（複数回答可）

<input type="checkbox"/> ごみに出した（ <input type="checkbox"/> 不燃物、 <input type="checkbox"/> 燃えるごみ）	<input type="checkbox"/> 中古ショップに売った
<input type="checkbox"/> 買い換えの時に販売店に渡した	<input type="checkbox"/> 知り合いにあげた・売った
<input type="checkbox"/> 記念品として保管している	<input type="checkbox"/> とりあえず保管している
<input type="checkbox"/> 小型家電回収ボックスに出した	<input type="checkbox"/> 回収に回っている廃品回収業者に出した
<input type="checkbox"/> その他（	）

◆ 「使用済み小型家電の回収モデル事業」について、おたずねします。

質問8 現在、大牟田市は、使用済みの小型家電を集める事業を行っていますが、ご存じでしたか？ あてはまるものに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 知っていた	<input type="checkbox"/> 知らなかった※
--------------------------------	----------------------------------

※ このモデル事業では、大牟田市内のスーパー、ホームセンター、市役所等において、使用済み小型家電を回収しています。是非、回収へのご協力をお願いいたします（事業の内容は、添付のちらしをご参照ください）。

質問9 上記事業をどのように知りましたか？ あてはまるものすべてに✓をつけてください。（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 新聞記事	<input type="checkbox"/> 新聞の折り込みちらし	<input type="checkbox"/> 学校で配付されたちらし
<input type="checkbox"/> 広報おおむた	<input type="checkbox"/> テレビのニュース	<input type="checkbox"/> ラジオのニュース
<input type="checkbox"/> 知り合いから聞いた	<input type="checkbox"/> 偶然回収ボックスを見かけた	<input type="checkbox"/> インターネット
<input type="checkbox"/> その他（		）

質問10 この事業をもっと多くの市民の方に知っていただくために、上記以外によりお知らせ方法があればご記入ください。

自由記入欄

[]



大牟田の祭
「大蛇山」のキャラクター
ダイジャー

質問11 この事業では小型家電の回収ボックスをスーパー、ホームセンター及び市役所等に設置しています（設置場所の詳細は同封のちらしをご参照ください）。あなたは、小型家電の無償回収に協力したいと思いますか？ あてはまるものに✓をつけてください。

協力したい（質問12へ） 協力したくない（質問13へ）

質問12 回収にご協力いただける場合、どこの回収ボックスに持参されますか？

スーパー、ホームセンター 大規模ショッピングセンター 家電量販店
 公共施設等（市役所、地区公民館、商工会議所） エコサックセンター

質問13 現在の設置場所の他に、どこに回収ボックスを置いたらよいと思いますか？ あてはまるものすべてに✓をつけてください。（複数回答可）

郵便局 駅 コンビニエンスストア 家電量販店
 その他の店舗（店舗の種類）)
 学校 その他（)

質問14 回収ボックス以外では、どのような回収方法がよいと思いますか？

自由記入欄

[]

質問15 このような小型家電回収の取り組みをどう思いますか？あてはまるものに✓をつけてください。

良い 特に何も思わない 良いこととは思わない 分からない
 その他（)

質問16 最後に、使用済み小型家電の回収について、どのようにしたらより市民の皆様のご協力がいただけるかなど、このような事業を効果的に行うためのご意見ご要望等がありましたらお書きください。

自由記入欄

[]

アンケートへのご協力ありがとうございました。

お手数ですが、ご記入いただきましたアンケートを同封の返信用封筒に入れ、2月25日（水）までに投函してください。お答えいただいたアンケートは、より効果的な事業運営のために活用させていただきます。